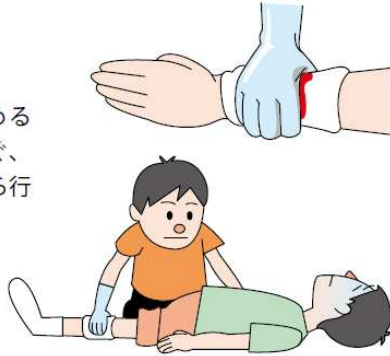


命を守る

応急手当の方法

出血のときの止血

傷の手当ては、①出血を止める（止血）、②細菌の侵入を防ぐ、という2つのことを意識しながら行う。



応急手当

- ①出血しているところを完全におおえる大きさの清潔なガーゼや布でやや強く押さえ、止血する。
- ②患部を清潔に保ち、包帯などを巻く。
- ③じかに血液にふれないように、ビニール・ゴム手袋を利用する（スーパーの袋などでもよい）。

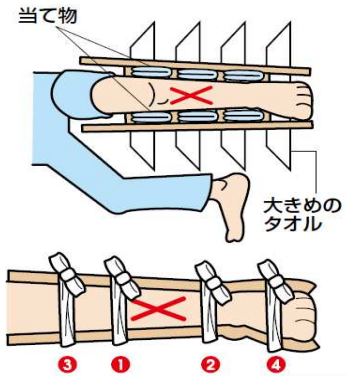
骨折

〔骨折の見方〕

- はげしい痛み
- はれたり変形している
- 冷や汗がでたり、寒気がする
- 傷口から骨の端がでている

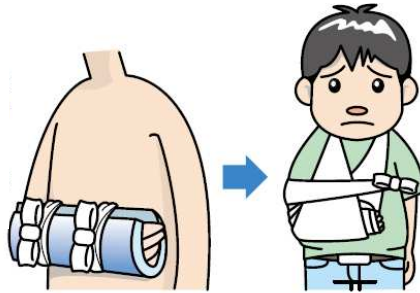
応急手当

- ①出血している場合は、その手当をする。
- ②雑誌などをあて、痛くない位置で固定する。雑誌などは骨折部分の上下の関節より長くする。
- ③骨が突き出ているときは、その上に清潔なガーゼか布をあて、シーツなどでくるむ。



〔腕の骨折〕

- ①骨折しているところに雑誌などをあて、その上下を固定する。
- ②大きめのタオルでつつたあと、さらに胸部を固定する。



〔足の骨折〕

- ①骨折しているところの両側から、雑誌などをあてる。
- ②関節が動かないよう、上の①～④の順番に固定する。

胸骨圧迫

①胸のまんなかには手を重ね、垂直に体重をかけ、胸骨を少なくとも5cm下方に圧縮されるように1分間100回以上の速さで圧迫します。（肘はまげない）



②30回圧迫後、人工呼吸を2回行います、この操作を一定間隔で繰り返します。

